

令和7年度 上郡町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：9名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・ 認知症初期集中支援チーム員
 - ・ 認知症ケアネットの作成
 - ・ SOSネットワークの構築
 - ・ 認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の開催
 - ・ チームオレンジ活動、認知症カフェ立ち上げ支援
 - ・ 認知症普及啓発イベント
 - ・ 介護者のつどい、本人ミーティングの開催
 - ・ 認知症出前講座の開催 等

報告者氏名： 市町担当 松本杏奴 認知症地域支援推進員 上田元子

上郡町 認知症施策全体図

認知症施策全体図

※上郡町の現状：R3 認知症は介護保険申請新規申請者の主要疾患の約 25%（約 4 人に 1 人）

【基本的考え方】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら

「共生」と「予防」※1を車の両輪として施策を推進

※1「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味

【認知症地域支援推進員】

認知症になっても住み慣れた環境で暮らし続けることができるように、認知症の方やその家族等をサポートする。相談支援に應じたり、認知症の知識や理解の普及・啓発、関係機関との連携やネットワークの構築等の役割を担う。



国のすすめる認知症施策推進大綱

1. 普及啓発・本人発信支援



2. 予防

3. 医療・ケア・介護サービス・ 介護者への支援



4. 認知症バリアフリーの促進・ 若年性認知症の人への支援・ 社会参加支援



5. 研究開発・産業促進・国際展開

上郡町の認知症施策の取り組み

・アルツハイマー月間における普及啓発イベント（チームオレンジメンバー参加）

- ・認知症サポーター養成講座
- ・本人ミーティングの開催
- ・認知症相談窓口（地域包括支援センターに設置）の周知

- ・通いの場立ち上げ・継続の支援、広報
- ・健康教育における認知症予防講座



- ・認知症初期集中支援
- ・認知症予防健診（町ぐるみ健診委託・問診票）
- ・介護者のつどい
- ・もの忘れ相談
- ・認知症ケアネットの作成

- ・SOS ネットワークの構築、認知症高齢者等声かけ模擬訓練の開催
- ・GPS 貸出助成事業
- ・チームオレンジ活動（ステップアップ講座の開催）（啓発グッズ作成・配布）
- ・認知症カフェ
- ・成年後見制度の利用促進
（西播磨成年後見センターの設置、成年後見制度相談窓口の周知
健康教育における成年後見制度に関する講座 等）

標題 上郡町における本人ミーティングの効果

上郡町の現状

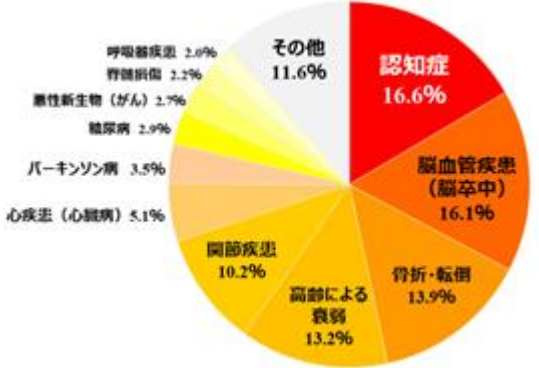
●人口動態(参考:上郡町人口・世帯のうごきより)

	R6	R7
人口(人)	13,786	13,258
高齢者(人)	5,746	5,657
高齢化率(%)	41.6	42.7

●相談件数内容(参考：上郡町相談集計表分析より)

	R6	R7
全件数(件)	1,932	1,587
認知症件数(件)	354(18%)	262(17%)

●要介護認定者の疾患別割合(全国)
(参考：R4年度国民生活基礎調査の概況より)



●介護認定新規申請理由
(参考:R3年度上郡町新規申請書分析より)

(%)		H27年度	R3年度
1	整形疾患	14.4	認知症 24.8
2	癌	10.8	関節疾患 19.6
3	認知症	10.2	骨折 12.4
4	骨折	9.2	癌 10.4
5	体力低下	不明	脳梗塞 4.0



- ・ 高齢化率が40%を超え、年々増加している
- ・ 相談内容の約20%が認知症についてである
- ・ 認知症における要介護認定の割合が全国と比較して

高い

その他、「独居になってから他者との交流が減り閉じこもりがちになった」「生活に困ってても周りに相談できずにいた」などの声も...



そこで…

地域で認知症支援の輪を広げるため、令和4年度にチームオレンジを立ち上げました。

【R7年度の活動内容】

- 紙粘土でロバ隊長を作成し、
町内各医療機関に配布
- 認知症啓発月間イベント
(ツリー展示、協力店舗にてチラシ配布等)
- 本人ミーティングやSOS声かけ模擬訓練への協働
- チームオレンジの会 (活動共有する場を年6回設定) 等



実施してみても...

上郡町チームオレンジは、40代から80代と幅広い年齢層の方が集まっています。今年度は新しい認知症観の普及啓発を積極的に行い、メンバーが地域で相談にのったり、支援が必要と思われる方の情報を提供してくれる等、地域で少しずつ「チームオレンジの輪」が広がってきています。

今後もチームオレンジの更なる普及啓発のため、メンバーと共に様々なことにチャレンジしようと考えています。



「認知症の相談をするのは勇気がいる」という考えをお持ちの方は、地域にまだたくさんいらっしゃいます。

当事者が地域で生活するには、周りの方の関わりが必要不可欠なため、今後も積極的に新しい認知症観を周知して「認知症に優しいまちづくり」を行いたいと思います。

